

スパイウェア
による犯罪

ダウンロード

クリック



むやみに
無料ソフトを
ダウンロードしない!
これ鉄則よ。

「スパイウェアによる犯罪とは？」

ソフトウェアを使って
IDやパスワードを盗む犯罪です。

スパイウェアというソフトを使って、パソコン利用者が気づかないような巧妙な手口で、インターネット・バンキングのIDやパスワード、個人情報などを盗み、それを元に口座から預金を引き出します。

スパイウェアとは… パソコン内の個人情報(メールアドレス、氏名、住所、電話番号など)やキーボードの入力操作などを記録して、犯人に転送するソフトです。

スパイウェア
チェックリスト

こんな手口に注意!

- 心当たりのないところから添付ファイル付きメールが送られてきた。
- 銀行からCD-ROMが送られてきた。
- Webサイト閲覧中に、突然「セキュリティの警告」などの表示が現れた。
- Webサイト閲覧中に動画をクリックしようとしたらプログラムのインストールをうながす表示が現れた。

手口の流れ

1 ↓ さまざまな手段でスパイウェアをインストールする。

スパイウェアをメールの添付ファイルで送ったり、CD-ROMで郵送したり、さまざまな手段でインストールさせる。Webサイト閲覧中に、利用者のパソコンにウィルスなどが侵入したかのように見せかけて無料ソフトをダウンロードさせる場合もある。

2 ↓ 気づかれないようにパスワードを盗む。

インストールされたスパイウェアによって、利用者が気づかないうちに、インターネット・バンキング利用時のキーボード入力履歴などを盗む。この情報を元に、IDやパスワードなどの情報を読み取る。

3 ↓ 預金を引き出す。

読み取ったインターネット・バンキングのIDやパスワードを使って、口座から預金を引き出す。

被害状況

■インターネット・バンキングによる預金等不正引出しの件数と金額

時期	平成17年度	平成18年4月～6月
件数 / 金額	37件 / 3,000万円	3件 / 1,000万円

<全国銀行協会による調査結果より(調査対象:全銀協正会員・準会員184行)>

マギー's アドバイス

スパイウェアから身を守るポイント



その1 セキュリティ対策ソフトは、常に最新版にしましょうね。銀行のセキュリティ対策ツールも活用してね。

その2 心当たりのないメールや添付ファイルは、むやみに開かない! あやしいホームページにはアクセスしない! これを習慣にしてね。

その3 インターネットカフェなど、誰でも利用できるパソコンでインターネット・バンキング取引をするのはすご〜く危険なの。絶対にやめてね。